

るのです。

このような循環を、人は転生と呼んできました。

それでは、

「なぜ、私達は転生を繰り返してきたのでしょうか」

「私達にとって、この肉体というものはどういう意味があるのですし

ようか……」

ということが続いていくのです。

これらに関しての詳しい内容については、UTAブックさんから、すでに九冊の本が発行されていますので、そちらのほうを、ぜひ参照してください。

特に、「意識の流れ」「続意識の流れ」「意識の転回」を読まれる

ことをお褒めします。

その上で、あなたが、「心を見る」ことを実践されていけば、色々
と自分の中で疑問が出てくると思います。

あるいは、日々の生活は生活としてあるけれども、ただ、一日一
日を過ごしていく中で、何かそれでは飽き足りないものが、自分の
中に起こってきていることを感じてくると思います。

その自分の思いに素直になって、自分に聞いてみることをしてい
きませんか。

例えば、

「自分はなぜ生まれてきたのか」

「自分の人生とは何だろうか」

「本当にこのまま死んでいった方がいいのだろうか」

そのようなことを考えてみませんか。

中には、その解答を求めて、これまでにあらゆる書物を手に取ったり、色々な人の話を聞いたり、様々なことに思いを傾けてこられたりという人もあるかと思いますが、そのような方も、ここで、一度、「心を見る」ということを始めてみてください。

きっと、それに対する解答に、自分の中で出会えると思います。

「人生、色々だ。生きていけば色々あるさ。」

それは確かにそうでしょう。確かに、それぞれに人生は展開して

いきます。人生色々です。

しかし、そういう一見、達観したような、そして、一方では諦め気分で、自分の人生を眺めるのではなくて、もう少し、自分に対して真摯な思いを向けてあげることをしてみませんか。

私は、この学びは、宗教ではないと言いました。

そのほんの一端かもしれませんが、次のようなことも、参考までに知っておいてください。

私達の学びには、教祖、指導者、後継者、そういうものは存在しません。

また、組織として動いてきたわけではありません。

私達には、引き継ぐ具体的なものは何もありません。この学びには財産もなければ、後継者もないということです。

過去、田池留吉氏という人を中心にセミナーが開催されてきたことは確かですが、この人は、私達の教祖、指導者という立場ではありませんでした。

本来、そういうものは必要としないのです。なぜならば、私達人ひとりが、偉大なる存在だからです。しかし、何をもって偉大だと言っているのか、そのところが大きなポイントなのです。

そのポイントは、私達の言葉で言えば、その人の土台です。土台が肉、形にあるのか、それともそうではないのか、それが、生きていく方向を、左、右へと振り分けていきます。

ほとんどの人は、自分というものを知りません。目に見えている姿、形を指して、これが私、これが自分だと思っています。そして、家柄であるとか、頭脳、美貌、財産等々に恵まれていれば、それらを全部引つくるめて、これが私だとそびえ立つのです。

そのようなものをみんな取り外して、人間裸になれば、みんな同じではないでしょうか。

いいえ、見目麗みめうるわしい人もいれば、そうでない人もいるよということかもしれません、やがてそういうものも、朽ち果てていくのです。

脳細胞も一日一日、衰えていきます。

由緒正しき家柄も、豊かな財産も、いつ何時、どういふことで傷
がつけられたり、失われたりするかわかりません。

とにかくそういうものは、流動的なものです。

第一に、それらは、自分が死んでいくときに、持っていけないも
のばかりです。

では、死んでいくときに持っていけるものがあるのでしょうか。
私は「ある」と答えます。

そして、本当に死んでいくときに持っていけるものがあるのだろ
うかと思っっているあなたに、それを、自分自身で解き明かしてい
た
だきたいと思っています。

どうぞ、本書をきっかけにして、あなた自身、本当の自分を知っ

ていく方向に進んでもらえればと思うのです。

本書によって、初めてこのような世界があることを知った方も、そして、これまでずっと学び続けてこられた方も、ともに、真実の方向へ、心に向けてまいりますよう。